

アプリのこと

令和2年1月25日発行
つどいの家・アプリ編集
〒982-0816
仙台市太白区山田本町3-20
TEL 022-743-1882
FAX 022-743-1883



たくさんの笑顔をお礼

今回の表紙はバジル・ローズグループの岩淵直子さんです。約7年のアプリを退所し、新しい道を進むことになりました。持ち前の笑顔と明るさで、いつも周囲を和ませていた直子さん。たくさんの楽しい思い出をありがとうございました。また会いましょうね！

(記：淡路)

ひとりごと ～事業所をからっぽに～



寒の入りとともに、寒さが一段と厳しく感じられるこの頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年最初の会報「アプリのこと」は、外出活動・行事・研修会の報告等、内容が盛りだくさんとなっております。記事の中でも紹介しておりますが、外出活動には、ただ出かけるだけではなく、利用者本人が外出したい行先や目的などを確認しながら取り組んでいます。そして、障がいのある人が外出することによって、障がいのある人を町で見かける機会をつくり、障がいのある人の理解促進を図る目的があります。日中だけではなく、夜も外出しながら、みなさんとの出会いを大切にしていきたいと考えております。このように、事業所をからっぽにすることを、アプリでは大切にしています。

また、行事についても同様のことが言えますが、行事を開催することで、地域のみみなさんと交流をより深めながら、コミュニケーションを図る機会が増えることについて、とても大切な意義を感じている次第です。

社会福祉法人つどいの家の理念は「どんなに重いしょうがいのある人も、地域社会で差別されることなくいきいきと自立した生活ができるよう、自己実現の場を保障し支援する」という基本理念を掲げています。会報の記事で、利用者が元気に地域と交流している姿をご覧ください。本年もつどいの家・アプリをどうぞよろしくお願いいたします。(記：大累)

映画「道草」上映会を行いました！！



社会福祉法人つどいの家・つどいの家後援会共催で、映画「道草」の上映会を11月22日に、せんだいメディアテークで行いました。3回の上映で、167名が鑑賞されました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

「道草」は、仙台市内の映画館や他の団体の自主上映会でも上映されておりました。

この作品は、“自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動がある人が、東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る”日々の様子を綴ったドキュメンタリーです。上映会では、第1回と第3回の上映後に、穴戸大裕監督と、つどいの家職員・利用者家族が、それぞれ1名ずつ壇上にあがりトークセッションが行われました。家族からは「重度の障害があっても、介護者と一人暮らしをして驚いた。将来に希望もてた」との感想をもらいました。次年度も、地域の皆さまに関心を持っていただけるようなセミナーを開催していきたいと考えています。

監督・撮影・編集：穴戸大裕
2018年/95分/カラー/日本
<https://michikusa-movie.com/>

(記：加藤(裕))



祝 勇太さん成人おめでとう！！



11月30日、今年度二十歳を迎えたクレソングループ所属 水戸勇太さんの新成人を祝う会を行いました。勇太さんは、この日のために「コナカで、パパみたいなグレーのスーツを買う！」と大張り切りで、私たち職員も勇太さんも、今か今かこの日を心待ちにしていました。

当日、まずは会場の雰囲気、そして今までお世話になった先生方との再会に、どんどん気持ちが高揚して、会の間は踊ったり音楽に合わせてタンバリンを演奏したり、たくさんの写真やお祝いムービーに大笑いしたりと、勇太さんらしさ満載のすてきなひと時となりました。

勇太さんには、持ち前の愛嬌と純粋さ、そしておふざけが大好きなところ、たくさんの魅力で周囲の人と人とを温かく繋いでいく不思議な力があると感じています。この会を通して、今までたくさんの愛に包まれてきた勇太さんの思い出のアルバム一つひとつに触れられたような気がして、私にとっては自分自身の成人式以上に感じることの多い1日となりました。

ご来場いただきました皆さま、温かく見守っていただきありがとうございました。そして勇太さん、ご家族の皆さま、これからもたくさん笑って、HAPPYと一緒に歳を重ねていきましょうね！

(記：榊原)



強度行動障害から学ぶ



12月14・15日の二日間で、株式会社アスム療育・研修センター主催「加藤潔氏と学ぶ自閉症研修2019」に参加してきました。加藤潔氏の講演は毎回ユーモアに溢れ、聞くたびに「また明日からがんばろう！」とポジティブになることができます。

自閉症のある人と関わると、どうしても問題行動（不適応行動）と呼ばれるような、叩く・壊す・自傷行為・他害行為等という行動に目が行きがちです。しかし、そのような行動は、そもそも本人の意思による行動なのではなく、本人を取り巻く環境自体がうまく本人の特性や興味関心とかみ合わず、それによって小さなストレスがどんどん積み重なっていき、「もういっぱい」「助けて」という心の声が表示された結果なのです。本人がもともと持っていたものではないのに、もともと持っているものとして考えられてしまうことに対して、私たち支援者は立ち止まり、その根本にある特性や本人の思いを知り、環境を整え支援していく役割を担っているはず。加藤潔氏の言葉を胸に、いつでも利用者の心の声に耳を傾けられる支援者でいたいです。

(記：小原)

リーの会研修に参加してきました！！

11月8日、仙台市の戦災復興記念館で行われた「重症心身障がい者の地域生活を進め支援する会（通称：リーの会）」の施設長・職員等合同研修に参加してきました。

今回の研修では、東京方面の施設の視察研修や保護者会についての報告、また神奈川県にある社会福祉法人みなと舎の総合施設長である森下浩明氏による講演、また行政との懇談会が行われました。

みなと舎では重症心身障がいのある方を対象として幅広く事業所を運営していて、その中には医療的ケアのある方が利用できる短期入所施設やグループホームがあります。自宅に限らず、生活の場を選びながら地域で暮らすことのできる「当たり前」をどんな重い障がいのある方にも、という姿勢に基づいて取り組みを続けてきたという話が印象的でした。

また行政との懇談会の中では、「県内で医療的ケアの必要な方もショートステイを利用していく」と提案もありましたが、施設整備が整っていないのが現状であり、利用することが難しいという話が挙げられていました。そのためには、行政の働きかけだけでなく、利用者や家族側からの働きかけも必要だと感じました。森下氏の講演の中でも「絵柄（生活のイメージ）はあってもつき手（支援者）ともち米（資金等）のない、絵に描いた餅とにならないようにしていかなければならない」という話がありましたが、障がいのある方の地域生活を整えていく上でどのような取り組みが必要となるのか等、改めて考えるきっかけとなりました。

障がいのある方が地域の中で自分らしく生活していくために、こうした機会を通して先進的な取り組みや考えについて新たに学んでいくこと、また現場の実情を行政に向けて発信していくことの重要性が感じられました。（記：寺島）



ゲストスピーカー

11月5日に、宮城教育大学で毎年行われるゲストスピーカーに、今年度はミントグループの安海貴裕さんがゲストとして参加してきました。重度重複のある人の生活を130名の学生のみなさんに発表しています。テーマは「安海貴裕さんの挑戦！With 素敵な仲間たち」。お母さんから貴裕さんの幼少期から現在に至るまでの話を聞き、その話をもとに資料を作成しました。貴裕さんの26年間の軌跡と、どんな状況になっても決してあきらめずに挑戦を続ける姿勢や、その貴裕さんの気持ちを全力で支援する様々な職種の支援者がいること、貴裕さんの目標に向かい、多職種が連携して支援していることについて学生の皆さんに伝えてきました。

基本的に緊張していたりつまらなかったりすると目を閉じることが多い貴裕さんですが、1時間半にもわたる発表の間、しっかり目を開けていました。その強い気持ちが伝わったのか、発表が終わった後にたくさんの握手を求められていました。しょうがいのことだけではなく、誰でも当たり前のことを当たり前を経験する、その権利を全ての人を持っていることをしっかり伝えてくれたと思います。どんなに重いしょうがいがあっても、やりたいことの実現に向けて、貴裕さんの支援にあたりたいと思います！聞いてくれた学生さんありがとうございました。



（記：押切）



仙台フィルコンサート

12月18日に日立システムズホールで開催された「仙台フィル クリスマスコンサート」に行ってきました。会場まで行きは地下鉄を利用して移動しました。向かいの席に座った方から「笑顔が素敵だね」「ネイルもかわいいね」と声をかけていただくなどほっこりエピソードもありました。コンサートが始まる前から終始笑顔がみられ、演奏が始まると手を振ってリズムをとったり、前のめりになりながら集中して演奏を聴いたりコンサートを楽しんでいました♪曲名はわからなくても「この曲聴いたことある!」という曲がたくさんあり、普段なかなかクラシックのコンサートに行く機会がなくても自然と笑顔で身体が動いてしまうような楽しく素敵なコンサートでした!
(記:佐藤愛)



光のページェントに行ってきました!

12月21日、バジル・ローズグループで光のページェントを見に行きました。土曜日の夕方から集まり、いつもと違う雰囲気に出発の時からワクワクしていました。まずはやっぱり腹ごしらえ!ということで、ブリアハウスというお店でお肉料理やパスタを食べました。クリスマスの雰囲気が漂う素敵な店内で、一足早くクリスマスパーティーをしたような気分でした。

そしていよいよ光のページェントへ!光り輝く並木道に思わず歓声を上げてしまいます。「きれいだね」と話しながら定禅寺通りを歩きました。首をグッと伸ばして見入ったり、無数の電球をキラキラした目で見つめたりとそれぞれに光のページェントを楽しんでいました。仙台の風物詩でもある一大イベントに活動の中で参加することができ、とても良い経験となりました。これからも、仙台の様々なイベントに参加していきたいと思います。
(記:淡路)



山田ふれあいまつりに参加しました！！

11月10日、山田市民センターで山田ふれあいまつりが行われました！アプリでは毎年参加していますが、今年度はバジル・ローズグループで参加してきました。

当日の天気は秋空に恵まれた1日となり、会場は大盛況！店頭に立った利用者も「いらっしやいませ〜！」と大きな声で呼び込みをし、活動で作成した作業品が購入されると嬉しそうな表情をしていました。また、他に出品されているお店を回っては素敵

な商品に目をうばわれたり、市民センター内でのステージ発表を鑑賞し、知っている曲と一緒に歌ったりと、皆さんそれぞれお祭りを楽しんでいた様子。地域の方と関わることのできる貴重な機会ということもあり、

「アプリさんだね！」「手作りなの？すごいね！」と声をかけてくれる方もたくさんいました。

みなさん来年もどうぞよろしくお願いたします！



(記：石田)

今年も鈎取イオンサンタさんが来てくれました！！

12月20日、今年度もイオンスーパーセンター鈎取店さんから、イオンサンタがアプリに来てくれました！！当日はクリスマスの歌を歌いながら到着を待ち、サンタさんやトナカイさん達が登場すると歓声が上がりました。利用者一人ひとりにプレゼントを手渡ししていただきました。頂いたプレゼントを大事そうに抱える方、中身が気になり早速開けてみる方など反応は様々でしたが、中には大好きな職員にプレゼントしようとする方もいました。最後の記念撮影では笑

顔が溢れ、皆さん一足早いクリスマスの雰囲気を楽しんでいました。イオンサンタさん、素敵なプレゼントをありがとうございました！！ (記：三浦)



編集後記

明けましておめでとうございます。早いもので2020年になりました。今年はオリンピックが日本で開催されますね！自国開催ということもあり、スポーツへの関心が高まると思います。私は走ることが好きなのでマラソン大会に参加しています。皆さんも応援だけでなく、実際に身体を動かしてみたいはかがですか。 (記：石田)